

あぶた福祉会

第37回

力を合わせて かいっぱい

ライオンズクラブ

交流会

1月17日、ライオンズクラブの皆さんのご好意で、清水友愛の里において交流会が行われました。

今年度の交流会は、餅つきを行い、つきたての餅で作った食事を楽しみ、会食後はカラオケを行いました。

利用者と職員が餅をつき、ラ



ライオンズクラブとの交流会

イオンズクラブの方が餅を返し、息を合わせての作業は、まさしく交流：親睦を深めることができたように感じました。餅のつき方が分らず力が入りすぎてしまう利用者、杵が重く振り上げることができずに職員が支えながらつく利用者など様々ではありましたが、全員が餅つきを体験することができました。

餅は3回に分けてつき、仕上げはライオンズクラブの皆様についていただき、その餅を小さく丸め、お汁粉として美味しく頂きました。お汁粉の他にも食事はとてもボリュームがあり皆さん大満足のようにでした。

食後のカラオケは、お菓子を用意し、食べながら楽しむことができるように進めていきました。

カラオケを聴いて楽しんでいる方、お菓子に夢中になっている方と楽しみ方はそれぞれでしたが、歌う曲がなかなか決まらず、悩んでいる間に交流会が終わってしまった方もいました。カラオケはあらかじめ歌う方を

決めていましたが、皆さんカラオケが好きなので歌いたい方が多く、限られた時間ではありましたが、もつと多くの人達が歌うことができたような配慮も必要であったように感じました。最後にはライオンズクラブの方と一緒に合唱をし、大盛況の中で終了しました。

毎年恒例となり、利用者の皆さんも楽しみにしている行事でもありますが、いつまでも継続していただければと思います。最後に、ライオンズクラブの皆様にはありがとうございました。今後とも宜しくお願いいたします。

(支援員 Y・K)

あすなろパンが好きだから

パン体験

1月14日、小学生を対象としたパン体験を開催しました。

今までの中で、一番参加者が多い1年生から6年生、21名が参加しています。



パン作りを体験した子供たち (写真提供・室蘭民報社)

年に2回、利用者とパン体験の参加を呼びかけていますが、毎回多くの参加者に来て頂いていることに感謝申し上げます。

今回は喫茶店あるそのれの人気NO1のメロンパンをはじめ、生地をソーセージに巻き付けて成形するソーセージパン、生地の中に栗の餡を入れて栗の形に似せて成形するくりパン、その他に自分たちの好きなパン6種類を作りました。

最初のうちは緊張していた参加者も、パン体験が始まると、時間の経過と共に明るい表情に変わっていき、積極的にパン作りを行っていました。

低学年の参加者には、高学年

のお兄さんお姉さんが親切に教えてあげられる様子が見られました。中には兄弟、姉妹で参加される方も何組かいました。お母様方の見学もあり、心配そうに見つめておりましたが、本人は物怖じせずにパン作りに夢中になっていました。

最初は成型に苦戦していましたが、利用者が見本を見せることや、手直しをすることで美味しそうなパンが焼きあがりました。

参加者からは『あすなろのパンが好きだからパン体験に来た』『作ったパンをお兄ちゃんに持って帰る』との声も聞かれました。家で待っている家族に自分の作ったパンを食べてもらいたいという参加者が多く、帰りには焼きたてのパンを嬉しそうな表情で持ち帰りました。パン体験の参加者である小学生たちが、あすなろの宣伝役になっているかもしれません。

利用者、職員共に今後も多くの方の参加をお待ちしております。

(支援員 M・S)